

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

教育の原点

子どもたちは、私たちの姿を見て育ちます。  
 使命：私たちは、子どもたちを守り、育てます。  
 遵法：私たちは、法令を遵守します。  
 公正：私たちは、不祥事を許しません。  
 公開：私たちは、地域に開かれた学校にします。

不祥事根絶のための行動計画

福山市立鞆の浦学園

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人情報等の管理方法が不十分である。</li> <li>○通勤距離が長い教職員が多い。</li> <li>○小規模校による児童生徒への個別の対応が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人情報等の管理の徹底</li> <li>○交通事故や飲酒運転防止の徹底</li> <li>○体罰・セクハラ防止のさらなる徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人情報等はカギのかかる金庫やロッカーに速やかに入れる。</li> <li>○時間に余裕を持った出勤と、翌日の運転について考慮した飲酒を行う。</li> <li>○児童生徒を指導する際や、教職員間での業務を密室などで行わない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学期に1回、服務研修についてのアンケート調査を行う。</li> <li>○管理職や主任等が月に1回以上点検を行う。</li> </ul>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○強い責任感により個として業務を完結しやすい。</li> <li>○落ち着いた校風により危機意識に欠けやすい。</li> <li>○不祥事防止に向けた研修が形骸化しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒や業務等の情報の共有化</li> <li>○不審者や火気等の扱い、文書管理の徹底</li> <li>○当事者意識を高める研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年会の充実や主任の進捗管理や助言の充実を図る。</li> <li>○定期的な不審者や火災等の訓練や職員室内の机上整理を中心とした文書等の管理を行う。</li> <li>○教職員自ら立案した研修やロールプレイを取り入れるなどした研修を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○月に1回、不祥事防止委員会で情報交換を行い、状況を把握する。</li> </ul>
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒保護者への相談窓口の周知が十分でない。</li> <li>○教職員の公私にわたる悩みなどの相談が不十分である。</li> <li>○専門的な機関との相談に関する連携がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○積極的な生徒保護者へのアンケートや面談の充実</li> <li>○教職員への個人面談等の充実</li> <li>○専門的な機関との相談体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒保護者への面談やアンケートを定期的実施する。</li> <li>○職員室で日々の教育指導上の悩みなどを出し合える雰囲気作りと、管理職からの日常的な面談を実施する。</li> <li>○スクールカウンセラーとの面談実施やメンタルヘルスの研修の実施をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学期末に児童生徒、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。</li> <li>○学期末懇談会における保護者からの聴取記録を作成する。</li> </ul>